

医療費の増加と

介護施設について



石川 修 議員

質問 医療費の実績について伺う。

答弁（保健福祉部長） 少子高齢化の急速な進展や医療技術の高度化及び疾病構造の変化等に伴い、医療費は年々増加している。65歳以上75歳未満の医療費は、平成21年度6億8,376万円、平成24年度7億1,370万円。後期高齢者75歳以上の医療費は、平成21年度12億7,500万7,000円、平成24年度13億3,976万5,000円。

質問 介護施設は何力所なのか。入所の人数は。今後、介護施設開業の動きは。

答弁（保健福祉部長） 入

所介護施設は6施設で、通所介護サービス事業所は、5事業所となっている。入所者の人数については、6施設の定員が329人で、平成25年11月1日現在で320人の方が入所している。介護施設許認可の予定等は、現在の第5次介護保険事業計画の中に、施設整備計画がないため、村として現時点で施設設置の許可は考えていない。

村民の健康づくりについて

質問 平成25年8月に、美浦村健康づくり計画策定のためのアンケート調査が実施されたが、どのように活用されるのか。

答弁（保健福祉部長） 住

民の自主的な健康づくりの行動指針として活用する。
質問 高齢者のいきいき健康アツプ事業として、高齢者を対象にICT（情報通信技術）を導入すべきだが、どう考えているのか。

答弁（村長） ICTを利用した健康づくり管理の部分を、本村としては若い人を含め、年齢制限をせず検討したい。

耕作放棄地の現状と対策について

質問 耕作放棄地が増える原因として、農業従事者の高齢化、労働力不足等が挙げられる。耕作放棄地の内訳、そして今後、再生可能な耕作放棄地をどのように活用するのか。

答弁（経済建設部長） 平

成24年度末で、水田が52ヘクタール、畑が86ヘクタールで、合計138ヘクタール。耕作放棄地の対策として、

- ①農用地区域を中心とした優良農地の耕作放棄地の解消
- ②農用地区域を中心とした優良農地の中に新たな耕作放棄地を生まない対策
- ③畑作農家の営農意識の確認と対策

以上3点を、本村の耕作放棄地対策の柱として定め、農協等関係団体の協力を得ながら、対策を進める。



増える耕作放棄地の早急な対応を